

租税教育だより

下高井郡野沢温泉村立野沢温泉小学校



第3号



みんなのために 未来のために
Together, for our Dreams and to our Future

NAGANO

長野県租税教育推進協議会

「租税教育だより」によせて



長野県租税教育推進協議会会長
斉藤 金司

平素、当協議会の事業につきまして格別の御理解と御協力を賜っており、ことに、厚くお礼申し上げます。
長野県租税教育推進協議会は、平成五年五月に、県内の教育関係機関や税務関係機関・団体により設立されました。当協議会では、設立以来、租税教育の推進と租税教育の充実を図ることを目的に、「租税教育用副教材等の作成及び配付」、「租税教室の開催」、「税に関する作文・標語等の募集に関する支援」といった事業に、構成機関・団体が一体となって取り組んでまいりました。

「租税教育だより」は、当協議会の活動状況や租税教育の現状を知っていただくために、平成十一年三月に第一号を発行いたしました。おかげ様をもちましてこのたび第3号を発行することになりました。この「租税教育だより」が、租税教育についての意識をより高めていただくために少しでもお役に立つことを願うものであります。
当協議会の主な事業の一つに租税教育用副教材「くらしと税金」の作成・配付があります。これは、税金の仕組みや役割について、写真やイラストによりわかりやすく解説したものであります。本年も、副教材研究会等で何度

も内容に検討を加えてから、平成十二年度版を作成し、県下の小学六年生全員を対象に配付いたしました。「くらしと税金」は、表紙が青色であることから、「税金の青い本」としておなじみとなっております。学校での授業や租税教室等でも活用していただき、好評を得ております。

この副教材につきましては、今後とも内容の充実を努めてまいりたいと考えておりますので、引き続き学校現場において有効に活用され、納税の意義や役割についての理解をいっそう深める一助となるよう期待する次第であります。
九月には、税金がどのように役立っているか学んでいただく「親子ふれあい教室」を諏訪湖周辺で開催いたしました。当日はあいにくの天気でありましたが、県内各地から小学生とお父さん、お母さん二〇〇名の参加がありました。郷土料理づくりや諏訪湖遊覧で楽しんでいただいたり、「税金クイズに挑戦」と題しまして、パソコンを使つての税金教室を行いました。この中では、当協議会が監修いたしました租税教育用CD-ROM「かん太とユーリーのスーパータイムトラベル」を使用いたしました。このCD-ROM

は、「現在の税金」と「昔の税」の二部構成となっております。クイズなどを通して日本の税の歴史や、なぜ税金が必要なのか楽しく学べるように工夫されており、子どもたちも熱心にパソコンを操作しており、税に対する理解が深まったのではないかと思います。
なお、このCD-ROMは、県下の各税務署や地方事務所に出用として備え付けてありますので、地域で租税教室開催の際等にはご利用いただきたいと思います。

このように当協議会では、今後とも納税の意義、役割をわかりやすく伝える事業に取り組み、子どもたちの税に対する学習を側面から支援してまいりたいと考えております。次代を担う子どもたちの税に対する理解を深めることは、次代における健全な納税意識を育むだけでなく、子どもたちの家庭や近隣地域への波及効果も期待でき、租税教育に果たす役割は大きなものがあると思っております。

最後になりましたが、租税教育に携わる方々の御活躍を祈念するとともに、一層の御協力をお願い申し上げます。租税教育だより「の発行のごあいさつ」とさせていただきます。ただきます。



「税務署へ行くぞう！」



昨年八月二日、伊那税務署で夏休みの中学生を対象とした租税教室が開催された。
十一回目となる今回は、市内の四中学校から六十名程度の生徒が参加、租税教育用ビデオを視聴し、税務の仕事について説明を受けながら署内を見学した。また、伊那税務署水総務課長から税の意義や役割について、伊那市役所安藤税務課長から地方税が今年度どのような事業で使われるのかについてそれぞれ講義を受けた。
夏休みの課題として税を考えようとお誘いした参加者は、熱心にメモをとり、税について真剣に学んでいた。
終了後、富澤税務署長から各校の代表者に受講証が渡された。
参加者からは、ふだん見られない職員の仕事ぶりを見るのがとても良かった、もっと税について学ぼうと思うと感想が寄せられた。

税に関する中学生の標語

関東信越国税局長賞優秀

税金が 築く豊かな 新世紀 高山村立高山中学校 一年 岡田美土里	税金で 21世紀の 国づくり 松川町立松川中学校 三年 山崎和晶
税金は 私たち社会の 会費です 小諸市立芦原中学校 三年 有賀ひとみ	税金を 知って納めて 豊かな暮らし 三岳村立三岳中学校 三年 下出 舞
税金で いい国つくろう ミレニアム 上田市立第二中学校 三年 酒元優也	納税に 託そう願い 創ろう未来 松本市立清水中学校 一年 塩野綾花
納税は 豊かな国への 第一歩 諏訪市立諏訪西中学校 三年 鈴木智貴	幸せな 暮らしをつくる みんなの税 池田町立高瀬中学校 三年 矢口結以
次世代に 豊かな暮らしを つなぐ税 宮田村立宮田中学校 三年 谷口 誠	税金で 築こう僕らの 新世紀 栄村立栄中学校 三年 油科政治

税に関する中学生の作文

長野県知事賞

税に助けられた生活
佐久長聖中学校
二年 戸納彩華

私が小学生三年生の夏、私の住んでいる村が集中豪雨におそわれました。午後の二時ぐらいには、雨雲のせいで夜のように暗く、目がくらむような沢山の雷や、滝のような雨で、集団下校をすることになりました。家で夕食をとっているとき、突然外でサイレンが鳴り響きました。

「大雨のため、鉄砲水がおこる可能性

があります。危険です。地区の避難場所へ、至急避難してください。」
こうして近くの中学校で、私たちの避難生活が始まりました。

三日四日経っても降り止まなかった雨が、ようやくおさまったとき、家や、他の地区を見回りにいっていた父の様子を聞きました。

「家は大丈夫だった。畑は少し荒れているけど、二三日で直せるだろう。でも、スキー場で土砂崩れが起きていて、補修が大変そうだったよ。あと、中土より向こうは、浸水で家の中にも土砂が沢山入っていた。小学校

もそうだったよ。姫川温泉は、建物自体が鉄砲水でぐちゃぐちゃになっていた。」

考えるのも恐ろしい状態でした。思ったよりも被害は大きかったのです。テレビのニュースには、車なんか通れそうもない道路や、落ちてしまった橋が報道されました。
雨が上がってからは、各地域で道路などの整備が始められていました。土砂崩れの起きた場所や、家の中の土砂の片づけがすべて終わるのに、半年はかかっていたでしょう。
新しくコンクリートで整備された道



路を、母と車で走っているとき、母がポツリと、
「普段納めた税に、こんなところで世話になるとは思わなかった。」
と話しました。家の修理代や、列車の線路、被害を受けたあらゆるものが、税金に助けられていたのです。
そして、さらに母は、
「避難しようにも出来ない人たちは、国がヘリコプターを出して助けくれたそうよ。おかげで今回の災害による死者は、一人もいなかったんですって。」
私はそれを聞き、思わず感動しました。税について、あまり関心がなかった私でも、税の恩恵を受けているのです。みんなが出した税のおかげで、多くの人の命が助かっていることに、税はすばらしいものだと思わずにはいられません。
今も私はそのときに整備された道路を通っています。電車を利用していつものような生活があったことを、感謝するべきだと思えます。そして、大人になったら、私も税のお世話になる日本人の一員として、生活をしたいと思えます。

租税教室で学んだ税の大切さ

松本市立山辺中学校
小室邦夫



「今までは税金に対してあまり関心がなかったけど、租税教室で納税の役割がわかりました。」

A君は、このように感想をもちました。私たちの学校では、生徒たちが自ら課題をもちねばり強く追求するために視聴覚教材教具の有効活用を実践したり、学校外や地域の方々に講師を迎えての学社連携・融合の学習も行っております。

租税教室では、松本税務署と松本市税務課の方々に講師に、ビデオ視聴も取り入れた授業となりました。

「税金を出すことには今一歩意味がわからなかったが、税により私たちの生活を支え国民全体の生活の向上にもつながっていることがわかった。」

「所得の多い人には高い税金を負担してもらい、所得の少ない人には生活保護などのサービスを提供し、所得の格差を少なくすることは所得の再分配であり、これに景気の調整と資源分配の調整が、財政の三つの機能であることが確かめられた。」

これらの生徒の授業後のまとめから、充実した租税教室であったことがわかります。資料提示により裏づけられたデータとビデオ視聴から、生徒たちは租税について多面的・多角的な角度から思考することができたと思います。

「日曜日に買い物をして代金を支払った時5パーセントの消費税を私は負担しました。その時初めて(税の負担者)になったのだという実感をもちました。」

この生徒は租税の学習後、こう語ってくれました。知識として学習したことを生活の中で理解して深まりが広がり、知識は知恵につながったと思います。普段生徒たちは税についてここまで実感したことはなかったと思います。租税教室のお陰であります。

「友だちの意見や感想と自分の考えを合

わせて、自分の意見にしていけることができた。累進課税は、わが国では所得の公平化を図るために所得税に導入されています。」

Bさんの感想です。この公平化のキーワードは友だちの意見から自分のものにしたのです。租税の学習により、学ぶことの意欲が高められ、学ぶ価値が発見でき、そこから学び続ける力を持つことができます。

「ヨーロッパ諸国は、間接税の比率が比較的高いです。日本では高齢化が進み、若い人たちの割合がどんどん減り、若い人たちの所得税に頼る方法では高齢化に対応できなくなってきたと思います。だから消費税など間接税の比率が高まりつつあるのではないかと考えますが、みなさんはどう思いますか。」

これは租税教室の次の授業におけるCさんの発言でした。租税と高齢化を関連づけ、今後の税のあり方まで考えが広まってきました。

確かに税は、私たちが豊かで安全な生活を育んでいくためには大切なものであり、納税は義務であります。その意味で、「税は何かわからない」という意識から、税の役割やその仕組みについて正しく理解するとともに、生活の中における有効性を実感し興味や関心を持つことを生徒たちの姿から見出すことができました。

生徒たちが活躍する舞台がこの二十一世紀です。国連は、二〇一〇年までの十年間を「平和の文化と子どもたちの非暴力の十年」と意義づけられています。平和で支え合える社会づくりに向けて、租税教室をはじめとする税についての学習を更に深めながら、納税者の自覚を高めていくことを望んでいます。

本校では、「山辺ドリームタウンを作ろう」というテーマに取り組んでおります。税により人々の夢がひとつひとつ実現できるよう、今日から一段と関心の高め、平和な社会の構築者として精進したいと思っております。

税

のポスター

(木曾郡租税教育推進協議会長賞)

【中学生の部】



上松中学校 三年 新井美穂子

【小学生の部】



読書小学校 五年 土生都宗平

租税教育用副教材の紹介

租税教育用ビデオ完成!



長野県租税教育推進協議会では、昨年中学生向け租税教育用ビデオ『私たちは探検隊～税のゆくえ～』を作成し、県内全中学校に配付しました。生徒たちは、自分たちが納めた消費税がどのように使われるのか、体験学習により学んでいきます。公民の授業などで是非ご利用ください。

副教材

- ① 「くらしと税金」 (小学生用)
- ② 「わたしたちの生活と税」 (中学生用)
- ③ 「わたしたちの生活と財政の役割」 (高校生用)
- ④ 「知ってあきたい税情報」 (社会人用)
- CD-ROM
- ① 「カンホとユーリーのスーパータイムトラベル」 (小学生用)
- ② 「グググの森の税金教室」 (中学生用)
- ③ 「がんばれ! 社会人一年生」 (高校生用)
- ④ 「ZEE君の税金クイズ」 (小学生/社会人用)
- ビデオ
- ① 「感星アトシ」 「教えて! ミスタータクト」 (小学生用)
- ② 「マリンとヤマトの不思議な日曜日」 (小学生用)
- ③ 「ミチの雨傘」 「ぼくたちの探検」 (中学生用)
- ④ 「あしるご姫時空の冒険」 (中学生用)
- ⑤ 「日本の税の歴史」 (中学高校生用)
- ⑥ 「THE RULES」 「億三千万人のクルーたち」 (高校生用)
- ⑦ 「社会人になるあなたへ STEP BY STEP」 (社会人用)
- ⑧ 「サラリーマンのための知ってあきたい税の常識」 (社会人用)

*各税務署で無料で貸し出しをしていますので、ご希望の方はお気軽にお申し出ください。